



Newsletter

●発行：日本農業市場学会事務局

〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町 45-1

摂南大学農学部食農ビジネス学科 気付

TEL：072-896-6000（農学部事務室気付）

FAX：072-896-6003（農学部事務室気付）

E-mail：kumi.soejima@setsunan.ac.jp

日本農業市場学会

Contents

- 2024年度大会案内（第2報）
- 2024年度大会個別報告の募集について
- 学会賞の推薦締切の延長について
- 2024年度韓国食品流通学会との交流事業について

2024年度大会案内（第2報）

2024年度大会は弘前大学農学生命科学部（青森県弘前市）にて、以下の日程・内容で開催します。

◆ 日程

2024年7月：各種委員会および理事会

7月20日（土）：シンポジウム、総会、懇親会

7月21日（日）：個別報告

※日程が通常と異なりますので、ご注意ください。

※各種委員会および理事会は7月中にオンラインで開催します。

◆ シンポジウム概要（予定）

日時：7月20日（土） 9:30～16:30（終日開催）

会場：弘前大学

方法：対面開催

テーマ：国際情勢激変下における（資材価格高騰下における）食料・農業市場（仮）

座長：冬木勝仁（東北大学）・安藤光義（東京大学）

◆ タイムスケジュール（予定）

会長挨拶 9：30～9：35（5分）

大会実行委員長挨拶 9：35～9：40（5分）

座長解題 9：40～9：50（10分）

第1報告 小池 晴伴（酪農学園大学） 9：50～10：30（40分）

「制度改革下における米の需給・価格変動と産地対応（仮）」

第2報告 杉村 泰彦（琉球大学） 10：30～11：10（40分）

「資材価格高騰に伴う遠隔園芸産地の変化と新たな対応（仮）」

第3報告 戴 容秦思（撰南大学） 11：10～11：50（40分）

「畜産物の価格転嫁について—食肉を中心に—（仮）」

第4報告 石田 章（神戸大学） 11：50～12：30（40分）

「物価高騰下における消費者の食行動について（仮）」

昼食・休憩 12：30～14：00（90分）

コメント 清水池 義治（北海道大学）、未定（JA関係者） 14：00～14：30（30分）

総合討議 14：30～16：10（100分）

座長総括 16：10～16：20（10分）

休憩 16：20～16：30（10分）

総会、学会賞表彰式 16：30～17：30（60分）

懇親会 18：00～20：00

◆ シンポジウム趣旨（案）

生産資材価格が高騰している下で、農産物への価格転嫁が進まず、日本農業は未曾有の危機に瀕している。そこで、農業市場論の視点から現状を的確に分析し、今後の対応を検討する必要がある。

3名の報告者から、コメ、青果物、食肉の生産・流通における具体的な問題を分析、報告していただくとともに、1名の報告者から消費者を中心とした需要側の動向を報告していただく。

2名のコメンテーターからは、これらの報告を受けてコメントをいただくとともに、酪農関係の状況、JAグループの対応について補完していただく。

2024年度大会個別報告の募集について

以下のとおり、会員のみなさまから個別報告を募集いたします。希望される方は期日までに必要事項を企画委員会事務局（後掲）までご連絡ください。

◆ 個別報告の申し込み（エントリー）

○締切 **2024年5月10日（金）** ※E-mailで企画委員会事務局必着

◇ **個別報告**へ申し込む際の必要連絡事項

- ① 報告者氏名および所属
- ② 報告タイトル
- ③ スライド（PDFファイルのみ可）使用の有無

◆ 個別報告の報告要旨の提出

○締切 **2024年6月3日(月)** ※E-mail で企画委員会事務局必着

◇ 提出書類

学会ホームページの「個別報告要旨(様式)」に従って作成してください。

※学会ホームページのアドレス：<http://amsj.jp/>

※用紙：A4 版横書き用紙 1 枚以内 (1,000 字程度)

※内容：報告タイトル (ゴシック体 10.5 ポイント太字、中央寄せ)

報告者氏名 (明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ)

所属 () 内に明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ)

報告要旨本文 (明朝体 10.5 ポイント)

※提出方法：MS-Word 形式のファイルを E-mail 添付で提出してください。

◆ 申し込みにあたっての注意事項

- ・報告時間は、1 報告 20 分、質疑 10 分を予定していますが、報告者の数によっては変更することもあります。あらかじめご承知おきください。
- ・会費を滞納している会員は、個別報告やセッションに申し込むことができません。また、報告の代表者だけではなく、連名で報告される会員すべてについて、会費を納入していることが条件となります。
- ・大会後に報告論文の投稿を検討されている方は、以下の点に特にご留意ください。投稿規程 (2015 年 12 月改正) によれば、報告論文のタイトルおよび執筆者(順)は、原則として個別報告等(要旨集掲載)のタイトルおよび報告者(順)とすることになっていますので、よろしくお願ひします。
- ・個別報告の領域が本学会の目的(会則第 2 条「農業・食料に関わる諸市場の理論的・実証的研究」)にふさわしくないと判断される場合は、個別報告をお断りすることがありますので、あらかじめご承知おきください。
- ・メールで報告申し込み(5月8日締切)を行なう際は、メールタイトルを必ず「氏名(日本名および外国名の方で漢字やカナ表記を希望される場合は日本字で、その他の外国名の方はアルファベット)：市場学会個別報告申し込み」として下さい(例「岸上光克：市場学会個別報告申し込み」)。
また報告要旨提出(5月29日締切)を行なう際は、メールタイトルを「氏名：市場学会個別報告要旨」と記して下さい(例「岸上光克：市場学会個別報告要旨」)。
メールタイトルが以上のようにない場合、受け付け漏れが生じる危険がありますが、その責任は企画委員会事務局では負いかねます。
- ・報告要旨は、上記の学会ホームページにある様式に厳密に従って作成して下さい。それ以外のもは受け付けができない、したがって個別報告ができないことがあります。
- ・個別報告の時間帯、場所、順序、会場などの決定は、全てを企画委員会事務局にご一任下さい。

○申込先（問い合わせ先）：企画委員会事務局

日本農業市場学会企画委員会事務局 岸上 光克（KISHIGAMI, Mitsuyoshi）

申込先

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学 食農総合研究教育センター

TEL：073-457-7655（直通）

学会賞の推薦締切の延長について

2023 年度の日本農業市場学会賞（学術賞・奨励賞）について、2 月末日まで推薦がありませんでしたので、推薦締切を 4 月末日まで延長します。下記の要領をご覧の上、積極的に推薦いただくようお願いいたします。

（学会賞選考委員長 磯田 宏）

（1）受賞候補の条件

◇日本農業市場学会学術賞

2021 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月末までに公刊された著書等。本学会会員であれば候補者の年齢は問わない。

◇日本農業市場学会奨励賞（川村・美土路賞）

2022 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月末までに公刊された研究業績。ただし、2024 年 4 月 1 日時点で満 40 歳未満の会員とする。

（2）学会賞候補を推薦できる者

1 名ないし複数名の本学会会員

（3）推薦の方法

推薦者から学会賞選考委員長宛に、A4 用紙に横書きで下記の事項を記載の上、提出する。

- ① 選考対象の研究業績名、または著書等名（いずれも発行所、発行年月日、論文の場合は掲載誌の名称・巻号を記載）
- ② 受賞候補者の氏名
- ③ 候補者の所属機関
- ④ 候補者の略歴（対象の業績が複数、または業績が共著であり審査対象者が複数の場合、①または②～④を繰り返して記入すること）
- ⑤ 同研究業績または著書等の要約（2,000 字以内）
- ⑥ 推薦者
- ⑦ 推薦理由

（4）推薦状および対象業績提出先

九州大学大学院 農業資源経済学部門 食料農業政策学研究室

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学ウエスト 5 号館 766 号室

磯田 宏 宛 （TEL：092-802-4678）

★対象となる業績（研究業績または著書等）3部を送付して下さい。

（5）推薦締め切り

2024年4月末日消印有効

2024年度韓国食品流通学会との交流事業について

今年度の韓国食品流通学会との交流事業については、大木茂会員に「日本と韓国の鶏卵生産流通構造に関する一考察（仮）－食の安全とアニマルウェルフェア規制－」を報告していただくことになりました。